

アメリカ合衆国
ジョー・バイデン大統領 閣下

アメリカ合衆国による臨界前核実験に対する抗議文

貴国が2021年6月と9月に核爆発を伴わない臨界前核実験を実施したということが明らかになりました。

今回は、ウクライナに侵攻したロシアが核兵器使用を示唆するなど核の脅威に世界中が直面している中、貴国が臨界前核実験を実施したことは国際社会における核兵器廃絶の流れに逆行するものであり、被爆地長崎の生活協同組合として極めて遺憾であり強く抗議します。

昨年1月には国連において核兵器禁止条約が発効し、世界の人々が核なき世界の実現ができるものと期待し、貴国をはじめ核保有国も含めて、世界中の国・地域の政府が署名・批准することを願っています。

私たち長崎県生活協同組合連合会は「核兵器のない世界」の実現に向け、核兵器廃絶などの平和活動に取り組んできました。貴国に対し、核兵器の維持や開発を目的とした核実験を一切行わないよう、強く要請いたします。

オバマ政権が掲げた「核兵器のない世界」という理念を引き継がれたジョー・バイデン大統領閣下のご英断により、貴国核軍縮政策への早急な方向転換を実施いただき、世界の恒久平和と核廃絶に向けて、ご尽力いただけるものと切望しています。

2022年4月18日
長崎県生活協同組合連合会
会長 本田稔

